

クラウドファンディング

概要

より多くの方が鑑賞できるよう、今回に限り鑑賞料無料で開催する、3年に1度の国際現代美術展「岡山芸術交流2025」を多くの人に応援してもらうため、クラウドファンディングで開催費用の一部を調達した。

プロジェクト名：『岡山芸術交流2025』を盛り上げたい!街歩きとともに無料で楽しむ国際現代美術展

募集期間：8月5日(火)～10月23日(木)

目標金額：5,000,000円

募集口数：1口45万円(返礼品:フィリップ・パレーノの限定作品 50点)
 1口1万5千円(返礼品:ライアン・ガンダーの限定グッズ 200点)
 1口1万円(返礼品:朝吹真理子執筆のカタログ 100点)
 1口1万円(返礼品:お礼のメッセージ及び開催報告書データ送付)
 1口3千円(返礼品:お礼のメッセージ送付)

資金使途：開催費用(設備費、人件費、広報/宣伝費、リターン仕入れ費、作品制作費等)

運営サイト：CAMPFIRE

実施結果

調達金額：7,538,000円(達成率150%)

内訳：45万円×14口

1万5千円×65口

1万円×20口(カタログ10口、お礼のメッセージ及び開催報告書データ10口)

3千円×2口

上乗せ支援5万7千円



フィリップ・パレーノの限定作品(50点)



ライアン・ガンダーの限定グッズ(200点)

Ⅶ プログラム・イベント

パブリックプログラム

～岡山の人・場・文化を開き、発信する～

パブリックプログラムでは、「岡山芸術交流」が地域に開かれ、根ざし、持続・発展することを目的に、岡山内外の人・場所・文化資産の3つのポテンシャルを活かした様々な企画を行った。“人や場所の発掘と関係性の構築”と“文化資産の活用と発信”を目指して、岡山の人や場所との関係を深化・発展させるとともに、新たな連携・協働プログラムを開発・実施した。

◆岡山芸術交流の基盤整備に関するシンボルイベント

クロージングイベント ラウンドテーブル「国際展と芸術祭の課題と可能性」

展覧会最終日に批評家の浅田彰、アーツ・プロデューサーの小崎哲哉を迎え、トークイベントを開催。国際展を考察するとともに、都市型国際展の意義や課題、その可能性について語り合った。

開催日時	会場	参加費	登壇者	参加者数
11月24日(月・休) 18:30~20:00	蔭涼寺	無料	浅田彰(批評家/京都芸術大学教授) 小崎哲哉(著述家/アーツ・プロデューサー) 那須太郎(岡山芸術交流2025総合ディレクター) <司会進行> 木ノ下智恵子 (岡山芸術交流2025パブリックプログラム・ディレクター)	59人

※別途YouTubeアーカイブ配信あり



クロージングイベント「みんなで語ろう 岡山芸術交流2025」

パブリックプログラムと一緒に盛り上げた各団体が一堂に会し、岡山芸術交流2025を振り返るクロージングイベントを実施した。互いの活動を知り、活動の様子やパブリックプログラムに参加した感想や課題をまとめ、今後の事業への提案を行った。

開催日時	会場	参加団体	参加者数
11月23日(日・祝) 17:30~19:00	岡ビル市場	ノートルダム清心女子大学、倉敷芸術科学大学、 一般社団法人みるを楽しむ!アートナビ岡山、株式会社Coaマネジメント、 法とアート・デザインに関する研究会、京都産業大学金光ゼミ、 一般社団法人岡山カルチャーカルチャー、 特定非営利活動法人 ENNOVA OKAYAMA、COCHAE	16人



パブリックプログラム

◆本展テーマ、ゲスト、作品の拡張プログラム

ジャーナルプロジェクト

岡山県内の学生5グループが、岡山芸術交流2025をそれぞれの視点で取材し、新聞としてとりまとめたものを表町商店街に掲示した。学生たちは事前に新聞づくりの基礎を学び、展覧会場での作品鑑賞や来場者へのインタビューを通し、岡山芸術交流2025の楽しみ方や自分たちの想いなど、学生独自の視点で新聞を制作した。

参加グループ:ノートルダム清心女子大学/岡山県立大学 デザイン学部 岡北研究室/倉敷芸術科学大学 芸術学部芸術学科 生命科学部 生命医科学科/岡山県立倉敷鷺羽高等学校/岡山市立上南中学校

参加人数:23人

事前講座:9月6日(土)10:00~12:00

取材日:9月26日(金)~10月3日(金)

展示期間:10月31日(金)~11月24日(月・休)



山陽新聞社の講師を招き、取材や記事制作のポイント等を学んだ。



作品鑑賞や来場者へのインタビューにより、新聞を作成するための情報収集を行い、原稿としてまとめた。



完成した新聞は表町商店街に掲示され、街ゆく人々が足を止めてじっくりと記事を眺めた。



ノートルダム清心女子大学



岡山県立大学
デザイン学部 岡北研究室



倉敷芸術科学大学
芸術学部芸術学科 生命科学部生命医科学科



2025年11月19日
山陽新聞(朝刊) P.22

制作した新聞の一部が、2回にわたって山陽新聞に掲載された



岡山県立倉敷鷺羽高等学校



岡山市立上南中学校

パブリックプログラム

公募事業

展覧会に関する新たなパートナーの発掘や開催エリア全体での機運の盛り上げを図るため、プログラムを公募し、計4団体が事業を実施した。

岡山メールアート・プロジェクト

岡山駅を起点にアートサイトを巡り、設置された5つのポストでA3の手紙カードを交換しつつ、岡山芸術交流の作品に関連するテーマ（本・建築・生命・音楽・テクノロジー）について観察をもとに概念を広げてマインドマップ式の「思考地図」を作成してもらった参加型プログラム。参加者らは各作品を見ながらそれぞれのテーマについて連想や関連概念を展開させた。



開催日	事業実施主体	開催場所	参加者数
11月1日(土) 11月2日(日)	京都産業大学金光ゼミ	旧内山下小学校 旧西川橋交番ほか	延べ200人

法とアート・デザインで岡山芸術交流を覗く「ほお〜めがね」

岡山芸術交流の会場を回遊し、展覧会実施エリアの建築物や道路、街頭標識等の現実の都市空間（アーキテクチャ）やデザインを観察し、撮影した。

そのうえで、撮影した複数の写真を対話型鑑賞の手法を用いて参加者と深く鑑賞し、写真中のデザイン等から目に見えないルールや法を読み取り、または解釈する体験を提供した。



開催日時	事業実施主体	開催場所	参加者数
11月22日(土) 10:00~12:00	法とアート・デザインに関する研究会 山下宗一郎	岡山県天神山文化プラザ (北区天神町)	19人

あるく・たべる・アートする〜岡山ヘルシーまち歩き 2025〜

アートと健康をテーマに、アートスポットとベジ・ファーストOKAYAMAプロジェクト協力店をめぐるスタンプラリーを実施した。参加者はアートを巡りながら、自然と健康になれる体験ができる。また、参加者はスタンプをためることでお得に野菜摂取できるチャンスやオリジナルグッズのプレゼントに応募した。

開催期間	事業実施主体	開催場所
9月26日(金)~ 11月24日(月・休)	中央地域健康市民おかやま21 岡山芸術交流2025 コラボ企画実行委員会	市内のアート作品展示エリア および協力飲食店

スタンプラリーチラシ配布数 2,000枚

特典利用者数70人

<内訳>

・特製箸交換: 53人

・ベジ・ファーストOKAYAMA協力店での利用: 17人



パブリックプログラム

鑑賞者の声を集めるプロジェクト

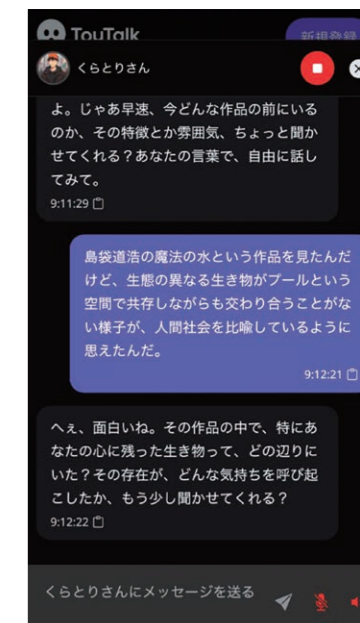
本展覧会テーマである「青豆の公園」の着想のもととなった村上春樹の小説「1Q84」の読書会や視覚障害者の方との対話型鑑賞といった人間による鑑賞サポートとAIチャットボットを利用した対話型鑑賞や特設Webサイトでのレビューの共有などAIによる鑑賞サポートを様々なアプローチで実施した。

事業実施主体

一般社団法人岡山カルチャーカルチャー



「1Q84」読書会



AI(くらとりさん)とアート鑑賞

開催日	実施事業	開催場所	参加者数
10月 9日(木) 11月 6日(木) 11月20日(木)	村上春樹「1Q84」読書会	CCCSCDゲキジョウ /bear's bookstore	11人
10月18日(土)	映画鑑賞会 「目の見えない白鳥さん、アートを見に行く」	岡山県視覚障害者センター	10人
10月26日(日)	視覚障害者とアート鑑賞	旧内山下小学校	8人
9月26日(金)~ 11月24日(月・休)	BASN対話型鑑賞	岡山芸術交流2025会場内	4人
9月26日(金)~ 11月24日(月・休)	AI(くらとりさん)とアート鑑賞、特設Webページへの感想(レビュー)の書き込み	<利用媒体> ToyTalk	158人

※BASNはベネッセアートサイト直島の略称です

パブリックプログラム

参加ゲストからのメッセージ動画

参加ゲストたちに、作品制作の思いや岡山の印象、岡山芸術交流で楽しみにしていることなどをインタビューし、動画にして紹介した。市民・県民の方へアーティストたちを身近に感じてもらい、作品に対する思いが伝わる動画になった。



大集合！青豆の公園でハガキを書こう！

アートによって日常と非日常が混ざり合い、岡山の街が村上春樹の小説「1Q84」の“青豆”に触発された「公園」に変貌するという本展覧会のテーマである「The Parks of Aomame 青豆の公園」。そんな「青豆の公園」の会場でもある旧内山下小学校に集合し、大切な人に岡山芸術交流2025のオススメや思い出などをハガキに書いて送るイベントを行った。

開催日時	会場	出席	参加者数
11月2日(日) 14:00~14:30	旧内山下小学校	岡山芸術交流実行委員会会長 大森雅夫(岡山市長) パブリックプログラム・ディレクター 木ノ下智恵子	111人



大森会長も参加し記念撮影



参加者はハガキに本展覧会の思い出を書き留めた。



記入後はポストに投函し、それぞれの宛先にハガキが送られた。



参加者には特典として公式グッズであるポストカードと切手(先着順)をプレゼントした。

パブリックプログラム

◆鑑賞支援

子どもナビと楽しむアートツアー

「アートの前では大人も子どもも関係なく平等」という姿勢を体現するプログラム。一般社団法人みるを楽しむ!アートナビ岡山(※)との協働により、子どもたちが独自の視点で作品への理解を深め大人の参加者を案内するアートツアーを実施した。小学3~5年生の子どもナビゲーターが、事前ワークショップで作品の見方やツアーの進め方を実践的に学んだ。作品の魅力を自分の言葉で伝えるための「ナビシート」を作成し、参加者の意見を引き出す声かけの練習にも取り組むなど、一方的な解説ではなく“対話による鑑賞”を大切にしたいツアーを目指した。

※作品を複数人でみて対話することで、一人では味わえない鑑賞体験ができる「対話型鑑賞」の手法を用いて鑑賞支援する団体。美術館や学校、企業研修などで活動している。

事前ワークショップ

開催日時	場所	子どもナビゲーター
10月12日(日) 9:30~12:30	岡山市立オリエント美術館	15人
11月2日(日) 9:30~12:30	岡山芸術交流2025会場	14人

ツアー本番

開催日時	場所	子どもナビゲーター	ツアー参加者数
11月3日(月・祝) 10:30~12:00	岡山芸術交流2025会場	8人	16人
14:00~15:30	岡山芸術交流2025会場	6人	9人



事前ワークショップ1回目では、対話型鑑賞のポイントを学び、岡山市立オリエント美術館、岡山神社、旧内山下小学校の作品をグループに分かれて鑑賞し、作品を見て感じたことや考えたことをグループで話し合ったり、自分が好きな作品を選んだりした。



事前ワークショップ2回目では、会場を実際に歩きながら「作品の魅力をどう伝えるか」を考え、ナビゲートの予行演習を行った。



ツアー本番では子どもナビゲーターが3人1組のグループに分かれ大人をナビゲートした。ナビゲーターからは「前までは1人で見てなにも考えなかったけど、みんなで見ると1人でみるよりももっと考えや意見がでて面白かった」「最初はあまりアートが好きじゃなかったけど、アートが好きになった。また芸術交流を見に来たい」といった声が聞かれた。



ツアー参加者からは「子どもたちが緊張しながらも自信を持って鑑賞ツアーガイドをしていたことが微笑ましく、また彼らの率直な意見に新鮮さを覚えました。とても楽しい時間をありがとうございました」「首都圏には芸術祭などのイベントはたくさんありますが、子ども中心の鑑賞プログラムはほとんどない印象です。岡山から全国に広がってほしいです」といった声が聞かれた。

パブリックプログラム

「みる×対話」アートツアー

一般社団法人みるを楽しむ!アートナビ岡山による、2016年から毎回実施している対話型鑑賞で巡るアートツアーを実施した。当日受付も可能で子どもから大人まで誰でも参加できる。メイン会場の旧内山下小学校で、参加者同士が作品を見て感じたこと、気付いたことなど何でも自由に語り合いながら鑑賞した。

開催日時	場所	参加者数
10月 5日(日) 14:00~15:00	旧内山下小学校	13人
11月16日(日) 10:30~11:30	旧内山下小学校	14人
14:00~15:00	旧内山下小学校	24人



岡山芸術交流紹介動画

岡山市教育委員会広報専門官こらぼん♪、ももこと一緒に現代アートや岡山芸術交流を楽しく学べる子ども向け動画を第1弾から第3弾まで作成し、YouTubeで配信した。

内容	公開日
第1弾 これまでの芸術交流	1月23日(木)
第2弾 参加ゲストの紹介	7月31日(木)
第3弾 2025の展示の様子	11月17日(月)



パブリックプログラム

◆学校連携

県内幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校91校(延べ123校)約5,800人の子どもたちが校外学習や部活動等で来場し、鑑賞を行った。

バス代の一部補助

事前申し込みのあった県内小・中学校、特別支援学校等を対象に、学校と会場間の往復交通費(団体バス代)の一部補助を行った。(1台あたり5万円を上限)

鑑賞支援(対話型鑑賞ナビゲーター、会場案内スタッフによる対応)

希望のあった学校には対話型鑑賞(22校)や会場案内(26校)を実施した。対話型鑑賞は一般社団法人みるを楽しむ!アートナビ岡山の協力により対話型鑑賞ナビゲーターを育成し学校対応を行った。

月日	学校	学年等	児童生徒数(引率者数)	備考
9月26日(金)	岡山市立岡山中央小学校	2学年	107人(9人)	案内
	真庭市立月田小学校	全学年	38人(6人)	案内
	岡山市立幡多小学校	3学年	140人(8人)	案内
	岡山市立箕島小学校	4学年	76人(5人)	案内
9月27日(土)	岡山県立倉敷鷺羽高等学校	新聞部	4人(1人)	ジャーナルプロジェクト
	岡山市立上南中学校	新聞部	5人(1人)	ジャーナルプロジェクト
9月28日(日)	岡山市立芳明小学校	3学年	89人(5人)	
	岡山市立旭竜小学校	3・4学年	46人(4人)	
	岡山市立牧石小学校	3学年	39人(4人)	案内
	岡山市立桃丘小学校	4・5学年	51人(5人)	対話型鑑賞
	岡山市立妹尾小学校	3学年	71人(6人)	
10月 1日(水)	岡山市立岡山後楽館中学校	全学年	210人(14人)	案内
	岡山市立灘崎小学校	3学年	39人(4人)	対話型鑑賞
	高梁市立津川小学校	1~5学年	23人(6人)	案内
10月 2日(木)	浅口市立鴨方西小学校	1・2学年	29人(4人)	案内
	津山市立東小学校	4学年	38人(3人)	案内
	岡山市立箕島小学校	6学年	45人(4人)	案内
10月 3日(金)	岡山市立竹枝小学校	2~6学年	20人(6人)	対話型鑑賞
	新見市立西方小学校	1~5学年	45人(10人)	対話型鑑賞
	新見市立塩城小学校	1~5学年	22人(4人)	対話型鑑賞
	岡山市立岡山中央中学校	3学年	122人(7人)	
10月 4日(土)	新見市立草間台小学校	1~5学年	25人(3人)	案内
10月 7日(火)	瀬戸市立美和小学校	1~4学年	23人(4人)	対話型鑑賞
	岡山市立旭竜小学校	5学年	27人(3人)	
	岡山市立岡山中央小学校	3学年	105人(6人)	案内
10月 8日(水)	岡山市立旭操小学校	3学年	87人(6人)	対話型鑑賞
	浅口市立鴨方西小学校	3・4学年	32人(3人)	案内
	岡山市立岡山中央小学校	4学年	127人(8人)	案内
	岡山市立七区小学校	1・2・5学年	53人(6人)	
	岡山市立旭竜小学校	6学年	28人(3人)	
10月 9日(木)	岡山高等学院	全学年	19人(7人)	
	岡山市立岡山中央小学校	5学年	119人(8人)	案内
	岡山市立庄内小学校	3学年	76人(5人)	
	玉野市立山田・後閑・胸上小学校	5学年	38人(5人)	案内
10月10日(金)	自由高等学院	1学年	20人(2人)	案内
	真庭市立川東小学校	全学年	98人(10人)	
	新見市立本郷・新砥小学校	全学年	87人(17人)	
	岡山市立岡山中央小学校	6学年	135人(7人)	案内
	ワオ高等学校	1・2学年	6人(2人)	

パブリックプログラム

月日	学校	学年等	児童生徒数(引率者数)	備考
10月15日(水)	岡山市立三敷小学校	5学	95人(5人)	対話型鑑賞
10月16日(木)	井原市立県主小学校	1~5学年	22人(6人)	
	岡山市立曾根小学校	2学年	21人(3人)	
	笠岡市立新山小学校	1・2・3学年	17人(4人)	案内
10月17日(金)	岡山市立第二藤田小学校	3学年	38人(5人)	
	赤磐市立山陽小学校	4学年	71人(4人)	案内
	岡山市立蛍明小学校	1・2学年	30人(6人)	
	玉野市立日比小学校	3・4・5学年	48人(4人)	対話型鑑賞
	新見市立矢神小学校	1~4学年	18人(3人)	
	自由高等学院	2学年	27人(2人)	案内
	玉野市立玉原小学校	1・2学年	32人(4人)	対話型鑑賞
	岡山市立東晴小学校	2学年	67人(6人)	対話型鑑賞
10月21日(火)	就実小学校	6学年	46人(3人)	案内
	岡山市立清輝小学校	全学年	93人(13人)	対話型鑑賞
	岡山県立東備支援学校中学部	全学年	34人(17人)	
	岡山市立御津南小学校	4学年	20人(2人)	対話型鑑賞
	内山下幼稚園		50人(5人)	
10月22日(水)	岡山市立岡山後楽館高等学校	2学年	12人(1人)	
	岡山市立五城小学校	全学年	42人(5人)	案内
	就実小学校	5学年	37人(3人)	案内
10月23日(木)	内山下幼稚園		100人(8人)	
	倉敷市立沙美小学校	1~5学年	11人(4人)	案内
	岡山市立馬屋上小学校	全学年	32人(7人)	案内
	岡山市立芳泉小学校ひばり分校	3学年	173人(10人)	
	岡山市立御津南小学校	3学年	22人(2人)	案内
	岡山市立東山中学校	美術部	12人(2人)	
	岡山市立岡山後楽館高等学校	2学年	12人(1人)	
10月24日(金)	岡山県立岡山支援学校高等部	2学年	8人(13人)	案内
	就実中学校	3学年	48人(3人)	
	美作市立美作第一小学校	4学年	43人(4人)	対話型鑑賞
	真庭市立八束小学校	3・4学年	37人(3人)	対話型鑑賞
	津山市立中正小学校	1~4学年	36人(7人)	対話型鑑賞
10月25日(土)	岡山市立石井中学校	美術部	13人(3人)	
10月28日(火)	瀬戸内市立牛窓西小学校	全学年	35人(9人)	対話型鑑賞
	就実小学校	4学年	62人(3人)	案内
	岡山市立上南中学校	3学年	59人(6人)	対話型鑑賞
10月30日(木)	岡山県立岡山支援学校高等部	1学年	8人(13人)	案内
	岡山県立倉敷まきび支援学校高等部	1学年	14人(3人)	
	岡山市立岡山中央中学校	1学年	99人(11人)	
10月31日(金)	自由高等学校	3学年	26人(1人)	案内
	岡山市立御津小学校	6学年	27人(3人)	
11月 1日(土)	倉敷市立多津美中学校	美術部	18人(1人)	
11月 6日(木)	岡山県立倉敷まきび支援学校高等部	1学年	11人(5人)	
11月 7日(金)	岡山市立福渡小学校	全学年	43人(8人)	案内
11月 8日(土)	岡山市立岡北中学校	美術部	6人(1人)	
11月11日(火)	岡山理科大学附属中学校	1・2学年	151人(10人)	対話型鑑賞
11月12日(水)	岡山大学附属小学校	4学年	35人(2人)	
11月13日(木)	岡山市立旭竜小学校	1・2学年	47人(4人)	
	岡山市立芳田小学校	2学年	62人(5人)	
11月14日(金)	岡山市立旭東中学校	1学年	206人(14人)	
	岡山大学附属小学校	4学年	66人(4人)	
	岡山市立福田中学校	1学年	136人(8人)	対話型鑑賞
	岡山市立香和中学校	1学年	137人(12人)	
	岡山市立城東台小学校	5学年	25人(3人)	
11月15日(土)	岡山県立岡山芳泉高等学校	美術部	10人(1人)	
	岡山市立岡山後楽館高等学校	1学年	27人(1人)	

パブリックプログラム

月日	学校	学年等	児童生徒数(引率者数)	備考
11月18日(火)	瀬戸内市立袋掛小学校	全学年	33人(7人)	案内
	岡山市立政田小学校	1・2学年	46人(6人)	
	玉野市立日比中学校	全学年	81人(11人)	対話型鑑賞
	岡山市立御津小学校	3学年	27人(3人)	
11月19日(水)	岡山市立福島小学校	2学年	38人(4人)	
	希望高等学園	1・2学年	166人(11人)	
	備前市立日生東小学校	5・6学年	33人(5人)	案内
	岡山市立足守小学校	1・2学年	28人(5人)	
	赤磐市立山陽東小学校	4学年	91人(6人)	
11月20日(木)	岡山市立岡山後楽館高等学校	1学年	20人(1人)	
	瀬戸内市立牛窓東小学校	6学年	7人(2人)	案内
	岡山市立野谷小学校	3学年	19人(2人)	
	岡山市立浮田小学校	5学年	22人(2人)	
11月21日(金)	倉敷市立倉敷支援学校高等部	2学年	29人(11人)	
	和気町立佐伯小学校	3~6学年	3人(2人)	
	赤磐市立城南小学校	1~3学年	35人(5人)	対話型鑑賞
	岡山市立箕島小学校	5学年	49人(4人)	案内
	笠岡市立吉田小学校・新山小学校	5学年	22人(4人)	案内
合計		91校	5,790人(612人)	

学校	岡山市内	岡山市外	計
幼稚園	1校 150人		1校 150人
小学校	34校 2,792人	32校 1,092人	66校 3,884人
中学校	11校 1,204人	2校 99人	13校 1,303人
高等学校	5校 179人	2校 170人	7校 349人
特別支援学校	1校 16人	3校 88人	4校 104人
	52校 4,341人	39校 1,449人	91校 5,790人

パブリックプログラム

来場校児童生徒の感想

- 海と川の魚と一緒に泳いでいるのでびっくりしました。魔法の水がふしぎでした。
- 廃校、使われずに荒れたプール、ウミガメ、鯉のありそうでなかった組み合わせが面白かった。雰囲気が好きです。
- 普段授業で鑑賞する図工と違って、動いているものも作品ということを知った。
- 見た目の威圧感と、人の声をもとにして喋る内容が変わっていく仕様が面白かった。来場者が優しい言葉をかければメンブレンは優しい言葉が話すようになるだろうし、醜い言葉をかければメンブレンが粗暴な物言いをしようとするところに興味がある。
- 円の中でバイオリンを演奏している人や、ボールを肩に載せている人、自転車に乗っている人が曲に合わせて表現しているのが一体感があった。自転車の人は後ろに下がっていたので時間の巻き戻しのように感じた。
- 「はっけん」のアートがとてもいいなと思いました。なぜならコインを探すのが楽しかったからです。
- 外から聞いたら普通の音だったのに、土俵の中に入ってみたらいろいろな所から音が聞こえてきてすごかったです。
- 現代アートは理解が難しいと思っていたけど、理解するといよりは周りとか作品そのものを見ながら何を感じるかが大切なんじゃないかと思った。
- 街のあちこちに展示が点在していたので、普通の美術館鑑賞とはまた違う、冒険をしているような新鮮な楽しさがありました。
- 岡山にしながら海外のアーティストの作品にたくさん触れることができ、とても貴重な経験になりました。また岡山の街並みとアートが融合していることが新鮮で面白かったです。
- 自分もそのアートの一部でもあるという話を聞いてそういう見方もできるということが分かった。

引率教員の感想

- 身の回りの様々な物事に対して児童が「あれはアートかも。」という会話をするようになった。
- 児童は自分の目であらゆる作品を見て、耳で案内を聞いて、心で芸術に対する想いを抱きながら鑑賞することができた。自らの五感の一部を使って味わえたことで、大きな学びとなりました。
- AIが芸術作品になる時代が来たなと実感した。
- 身近なところにも見方を変えればアートになることに気付かされた。
- 対話型鑑賞を取り入れていただいたことで、ナビゲーターの方からの問いかけにより児童から様々な発言があった。それらの発言により、児童は一人一人の感じ方の違いやそのおもしろさを実感することができた。
- 作品の見方や特徴を教えていただいたことで充実した鑑賞になりました。鑑賞する側の想像や感性に委ねられ、作品を理解しようせず、感じるままに楽しめばよいということがよくわかりました。
- 芸術を通して子どもたちの心が動き、互いの感じ方を共有する中で新たな気づきが生まれていく様子を、教育の中で「芸術に触れる時間」の意義を強く感じた。貴重な機会をいただきありがとうございました。
- 対話型鑑賞では自分の意見を話すだけでなく、みんなの意見にも耳を傾けることができた。今回の活動で世界の見え方が少し違って見えるようになった。
- 生徒同士で「作者は何を伝えたいのだろうか?」「これは何だろうか?」など、普段なかなか目にすることのない現代アートを楽しんでいた。
- 子どもたちは、普段学校や日常生活では触れることができない様々なタイプの芸術に親しむことができました。特別だけど特別ではなく、自分たちの日常の中にも様々なアートがあふれていること、自分たちもアートを生み出す存在であるということに気付くきっかけとなったと感じています。



パブリックプログラム

学校出前講座・教職員向け研修

一般社団法人みるを楽しむ!アートナビ岡山と協働し、市内小・中学校7校へ出前講座を行ったほか、希望した県内小中学校、特別支援学校の教職員を対象に対話型鑑賞研修会を行った。

学校出前講座

月日	場所	参加者数
2023年		
10月12日(木)	岡山市立妹尾中学校	106人
11月7日(火)	岡山市立岡山中央中学校	107人
12月6日(水)	岡山市立野谷小学校	27人
12月11日(月)	岡山市立灘崎小学校	38人
2024年		
2月29日(木)	就実小学校	21人
3月7日(木)	就実小学校	23人
10月10日(木)	岡山市立旭東小学校	17人
10月15日(火)	岡山市立妹尾中学校	106人
11月20日(水)	岡山市立灘崎小学校	45人
11月21日(木)	岡山市立福渡小学校	44人
2025年		
3月4日(火)	就実小学校	60人

教職員向け研修

月日	場所	参加者数
2024年		
2月19日(月)	就実小学校	12人
8月2日(金)	岡山県立美術館	17人
<内訳> 小学校 12人 中学校 5人		



学校出前講座



教職員向け研修

パブリックプログラム

朝鑑賞プログラム

始業前10分間で取り組める朝鑑賞プログラムを作成し、県内全小・中学校、特別支援学校へデータで送付した。小学校低学年、中学年、高学年、中学校別に、岡山芸術交流の過去作品を題材にしたワークシートと10分間の流れを作成し、教員の負担が少なく気軽に取り組めるようにした。このプログラムにより現代アート作品を鑑賞する楽しさを知り、岡山芸術交流への関心を高めることをめざした。

*来場校において朝鑑賞プログラムを実施した児童生徒数 約4,000人

*来場した約5,800人の児童生徒のうち、約5,000人が岡山芸術交流紹介動画や朝鑑賞プログラムで現代アートについて学習した。



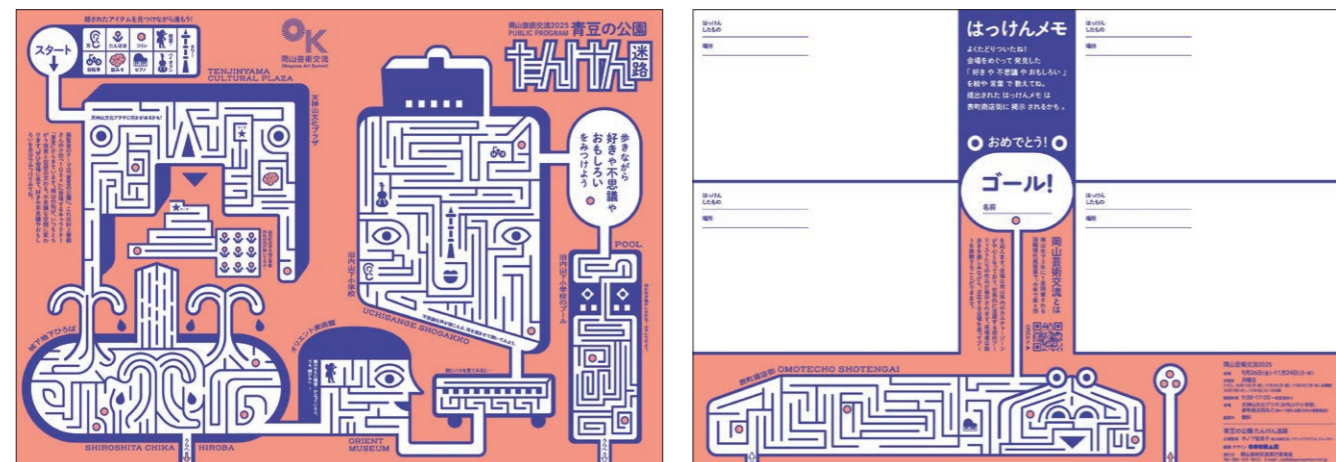
小学校高学年ワークシート

子ども向けリーフレット 「青豆の公園たんけん迷路」

岡山芸術交流2025の会場を子どもが大好きな迷路にすることで、遊びながら岡山芸術交流に興味をもち、家族で来場してもらうために作成した。表面は迷路、裏面は会場を巡ってみつめたことを絵や言葉で書けるはっけんメモにして、来場後事務局に送ってきたはっけんメモは表町商店街のジャーナルプロジェクト掲示板に掲示した。

市内全小学校の4～6年生、近隣市町立小学校の4～6年生、来場小・中学校、特別支援学校の来場学年と4～6年生に事前に送付した。また、会期中は各会場に設置し自由に手に取って鑑賞する姿が見られた。

*近隣市町立小学校は倉敷市、玉野市、総社市、瀬戸市、赤磐市、早島町、久米南町、美咲町、吉備中央町



パブリックプログラム

◆地域へのアウトリーチ

会期前に一般市民・県民向けとして対話型鑑賞ワークショップを行った。参加者からは「みんなで対話しながら鑑賞するのは楽しかった」「岡山芸術交流に行ってみよう」といった声が多かった。また、ナビゲーター養成講座の実地研修の場としても大変意義のあるプログラムだった。

第21回OKAYAMAつながる市

月日	場所	参加者数
2024年 10月6日(日)	表町商店街 栄町	166人 ナビゲーター研修生8人(1期)

「ハレノワ」アートおしゃべりツアー

月日	場所	参加者数
2024年 12月21日(土)	岡山芸術創造劇場 ハレノワ	24人(大人17人、子ども7人) ナビゲーター研修生4人(1期)

◆対話型鑑賞ナビゲーター養成

学校来場の鑑賞支援を行う対話型鑑賞ナビゲーターを募集し、2023年に体験会、2024年に1期生(19人)、2025年に2期生(20人)を養成した。(みるを楽しむ!アートナビ岡山委託事業)



○体験会

月日	場所	参加者数
2023年 7月2日(日)	岡山県立美術館	19人
12月9日(土)	岡山県立美術館・ 岡山市立オリエント美術館	30人
2025年 2月2日(日)	岡山市立オリエント美術館	22人

○ナビゲーター養成講座1

月日	場所	参加者数
2024年 5月26日(日)	岡山市立オリエント美術館	11人(1期生)
2025年 6月8日(日)	岡山市立オリエント美術館	20人(2期生)



おかやまSDGsフェア (岡山芸術交流実行委員会出展ブース、 対話型鑑賞ワークショップ)

月日	場所	参加者数
2025年 8月7日(木)	岡山 コンベンション センター	13人 (大人9人、小学生2人、高校生2人) ナビゲーター研修生7人(1・2期)
8月8日(金)	岡山 コンベンション センター	21人 (大人10人、子ども11人:3歳~小学4年生) ナビゲーター研修生7人(1・2期)



○ナビゲーター養成講座2

月日	場所	参加者数
2024年 8月25日(日)	岡山市立オリエント美術館	10人(1期生)
2025年 6月29日(日)	岡山市立オリエント美術館	20人(2期生)

○ナビゲーター養成講座3(認定プログラム)

月日	場所	参加者数
2025年 4月13日(日)	岡山市立オリエント美術館	10人(1期生)
2025年 9月5日(金) 6日(土)	岡山芸術創造劇場ハレノワ	19人(2期生)

○オプション研修

月日	場所	参加者数
2025年 7月19日(土)	ラビットホール	26人(1・2期生)

アーティスティック・トランスレータープログラム

アーティスティック・トランスレータープログラムでは、現代アートに関心の低かった市民・県民が興味を持ち岡山芸術交流に関わることを目的に、アーティストが独自の視点で今までにない新しいプログラムを企画・実施した。岡山芸術交流2025では、アーティスティック・トランスレーターとしてアーティスト 島袋道浩が就任した。また、プログラムの実施にあたり、プログラム・コーディネーターを松田雅代が担当した。

◆参加型プログラム

飛ぶ人たち

参加者それぞれが制作した自画像凧を自らの手で空に飛ばすという参加型のアート作品。これまで海外でも実施されたが、日本初開催となる今回は1785年に世界で初めて人力で空を飛ばそうとしたという表具師幸吉ゆかりの地、旭川の河川敷で実施した。2025年3月にレクチャーを受けた制作サポーターも継続的に運営に携わった。

<サポーター向けレクチャー・ワークショップ>

開催日	開催場所	参加者数
(第一部) 凧作り 3月8日(土) (第二部) 凧あげ 3月9日(日) ※「岡山芸術交流2025」開幕200日前のプレイベントとして実施	岡山芸術創造劇場ハレノワ 旭川河川敷(京橋朝市会場)	11人 11人

<凧づくり>

開催日	開催場所	参加者数
(第一部) 5月 9日(金)・10日(土)	岡山芸術創造劇場ハレノワ	(第一部) 32人
(第二部) 5月23日(金)・24日(土)		(第二部) 31人



凧シートにベースとなる自分の姿をトレース。



下書きの後、色塗り→切り取り→骨組を取り付け。



完成した等身大の自画像凧。

<凧揚げ>

開催日	開催場所	参加者数
5月11日(日)・25日(日)	旭川河川敷広場	延べ100人(同行者含む)



個性豊かな凧たちが一斉に空を飛びまわった。いつもとは違う空の姿に道行く人は目を奪われていた。



表具師幸吉の石碑の前で記念撮影。

アーティスティック・トランスレータープログラム

◆アートを拡張するプログラム

市役所内で映像作品を展示

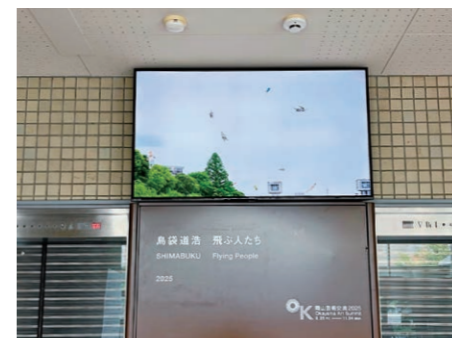
岡山市役所本庁舎1階のエレベーター前で、岡山芸術交流にゆかりのあるアーティストの映像作品が展示された。市役所職員を含め、市民・県民に向けて岡山芸術交流に関心を持ってもらいたいというアーティスティック・トランスレーター 島袋道浩の思いから企画・実施された。



展示作品	展示期間	場所
(第一弾) 「白鳥、海へゆく」 島袋道浩	6月30日(月)～ 8月15日(金)	岡山市役所本庁舎1階 エレベーター前
(第二弾) 「Büsi 子猫」「Hunde 犬たち」 ペーター・フィッシュリ&ダヴィッド・ヴァイス	8月18日(月)～ 9月22日(月)	
(第三弾) 「飛ぶ人たち」 島袋道浩	9月24日(水)～11月21日(金)	



エレベーターを待つ市役所職員。毎日のすき間時間に現代アートへ触れる機会ができた。



モニターは2台同時に同じ内容を映すこともあれば、別の内容を映すこともあった。



大きく見やすい作品キャプション

アーティストック・トランスレータープログラム

アーティストック・トランスレーター 島袋道浩の動画

アーティストック・トランスレーター 島袋道浩が、アーティストならではの視点で街の魅力的なスポットを紹介していく動画を全10回にわたり、会期終了まで岡山芸術交流公式YouTubeにて公開した。



回次	タイトル	概要
第1弾	西川緑道公園	西川緑道公園で島袋道浩より本企画の紹介。
第2弾	岡山市内のパブリックアート その1	岡山市内に住む現代アートファンの中学生と岡山芸術交流会場付近に設置されている作品を紹介。
第3弾	岡山市内のパブリックアート その2	
第4弾	岡山市内のパブリックアート その3	岡山市内に住む現代アートファンの兄弟と岡山芸術交流会場付近に設置されている作品を紹介。
第5弾	岡ビル市場 その1	岡山駅東口から徒歩5分の岡ビル市場を探索。
第6弾	岡ビル市場 その2	
第7弾	奉還町商店街	岡山駅西口から徒歩5分の奉還町商店街を探索。
第8弾	奉還町：映画の冒険	奉還町商店街にあるシネマコレクターズショップ「映画の冒険」を紹介。
第9弾	楯築遺跡	倉敷市にある「楯築遺跡」を紹介。
第10弾	特別編：万成石の採石場	岡山の有名な「万成石」の採石場を見学。



アーティストック・トランスレータープログラム

行くつもりがなかった岡山芸術交流

アートにあまり関心がない人々を対象に、アーティストック・トランスレーター 島袋道浩の案内で岡山芸術交流2025の会場をめぐるガイドツアーを実施した。参加者はアーティストならではの独自の視点の解説を聞きながらアート鑑賞を楽しんだ。参加者からは、「これまであまりアートに興味なかったが、ツアーを通して少し面白いと思えるようになった」という声もあがった。



開催日時	開催場所	参加費	参加者数
(1回目) 9月28日(日) 14:00~16:00	旧内山下小学校、表町商店街	無料	10人
(2回目) 10月26日(日) 16:00~18:00	旧内山下小学校	無料	40人

(1回目の様子)



島袋道浩が会場内の作品を紹介していき、ツアー参加者以外の一般来場者も耳を傾けていた。



島袋道浩の作品である「輪ゴムをくぐりぬける」を実演し、参加者も作品体験をすることができた。

(2回目の様子)



1回目を大幅に上回る人数の参加者が集まった。



本展覧会では見られない特別な映像作品の紹介も行われた。

イベント

みる!つくる!あそぶ!現代アートの世界(開催決定記念イベント)

岡山芸術交流2022で盛り上がった機運を次の開催につなげるため、リクリット・ティラバーニャ(岡山芸術交流2022アーティストック・ディレクター)の卓球台の形をした作品を展示(体験)した。オープニング式典では大森会長(岡山市長)と地元の子どもたちによる卓球のラリーを行った。その他、小学生を対象にしたアートワークショップ(シルクスクリーンプリント)、過去3回の岡山芸術交流を紹介するパネル展や動画の上映を行った。

日時 2023年9月18日(月・祝) 10:30~17:30

場所 イオンモール岡山1F未来スクエア

参加 作品体験173組563人、ワークショップ58人(3回合計)

主催 岡山芸術交流実行委員会・岡山市文化振興課



OKロゴのシルクスクリーンプリント体験



リクリット・ティラバーニャ作品展示
(大森会長と子どもたちの開会式)



ワークショップ作品完成集合写真

開催300日前記念式典事業

講師と小学生で「おかやまの街をみんなで描こう!」をテーマに、岡山市新庁舎建設工事の仮囲いに「岡山芸術交流2025」と「岡山市役所新庁舎」のPRを兼ねて壁画アートを制作した。翌日、大森会長(岡山市長)、田口顧問(岡山市議会議長)、協力企業による筆入れ式を実施した。

開催日 2024年12月1日(日)・2日(月)

場所 岡山市役所新庁舎建設工事仮囲い

講師 しんたにひかる

参加者 22人(壁画アート制作)



制作風景



完成



筆入れ式典

イベント

開催200日前記念事業

アーティストック・トランスレータープログラム「飛ぶ人たち」の制作サポーター養成に合わせて、島袋アーティストック・トランスレーターのほか、大森会長(岡山市長)、石川総合プロデューサー、木ノ下パブリックプログラム・ディレクターも参加し、各自の自画像凧を揚げた。

実施日 3月9日(日)

場所 旭川河川敷京橋付近



自画像凧と集合写真



大森会長の凧

市民ホールパネル展

岡山芸術交流過去作品や会場風景などを写真パネルで紹介した。また、チラシの配布に加え岡山芸術交流紹介動画の上映を行い、岡山芸術交流の魅力発信した。

期間 9月1日(月)~3日(水)

場所 岡山市役所市民ホール



岡山芸術交流2025 スペシャルイベント 公開インタビュー ハンス・ウルリッヒ・オプリスト × 詩人・吉増剛造

日時 11月7日(金) 14:00~15:30

会場 岡山県天神山文化プラザ 1階 第1展示室

料金 無料

登壇 ハンス・ウルリッヒ・オプリスト(参加ゲスト、キュレーター)
吉増剛造(詩人)

定員 40人(事前予約不要、先着順)

主催 岡山芸術交流実行委員会



Photo: Ellen Hasson



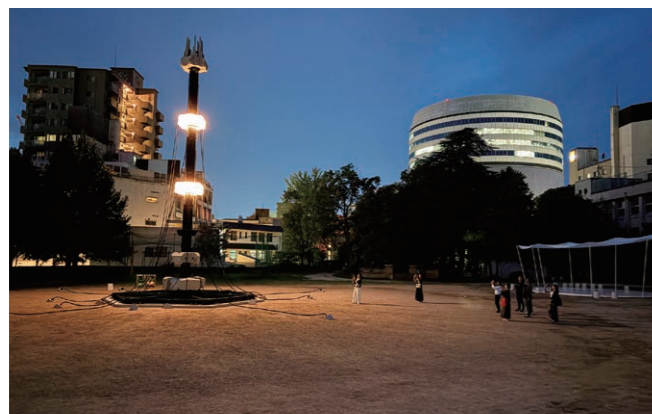
Photo by Kiyoshi Muro
Courtesy the artist and Take Niinagawa, Tokyo.

イベント

夜のプレミアム鑑賞

岡山後楽園夜間特別開園「秋の幻想庭園」・岡山城夜間特別開館「秋の鳥城灯源郷」に合わせ、旧内山下小学校で展示している2作品の鑑賞時間を20時まで延長した。

期 間 11月14日(金)～24日(月・休)
 会 場 旧内山下小学校
 作 品 ①フィリップ・パレーノ《メンブレン》
 ②サウンドウォーク・コレクティヴ with Awich & フィリップ・パレーノ《レナンシエーション・オブ・タイム》
 来 場 延べ566人



校庭



土俵

来場10万人突破記念セレモニー

累計来場者10万人突破を過去最速で達成したことを記念し、該当の来場者に記念品贈呈及び記念撮影を行った。

日 時 10月15日(水) 10:00～
 場 所 旧内山下小学校(校庭)

来場35万人突破記念セレモニー

累計来場者が過去最多となり、35万人突破したことを記念し、該当の来場者に記念品贈呈及び記念撮影を行った。

日 時 11月16日(日) 11:00～
 場 所 旧内山下小学校(プール)



連携プログラム

岡山芸術交流を地域に浸透させ持続可能なものとするため、官民等が実施する岡山芸術交流と親和性の高いイベント等との連携により、地域の中で岡山芸術交流に関わる様々な人材・団体・企業を増やし、岡山芸術交流2025の開催を地域全体で盛り上げていった。

特別企画バスツアー

岡山芸術交流2025の開催PRのため、現代アートにあまり触れたことのない方を対象に、作品ガイド付きの特別企画バスツアーを2023年と2024年の2か年にわたり岡山市と連携して実施した。

岡山芸術交流2025開催決定記念 2023年10月～2024年1月

コース名	行 程	参加者数
A 県北満喫コース	奈義町現代美術館、湯郷温泉等	40人
B 島旅コース	犬島精錬所美術館、牛窓オリーブ園等	40人
C 子どもアート探検隊	S-houseミュージアム、西大寺観音院等	10人
D アート賢沢冬旅コース	高梁市成羽美術館、井倉洞等	40人
		合計 130人



2023子どもアート探検隊(西大寺観音院)



2023アート賢沢冬旅コース(高梁市成羽美術館) 奈良 美智《コスミック》2007

岡山芸術交流2025開催1年前記念 2024年10月～11月

コース名	行 程	参加者数
A 奈義コース	奈義町現代美術館、森の芸術祭等	40人
B 犬島コース	犬島精錬所美術館・犬島「家プロジェクト」等	40人
C 津山コース	森の芸術祭 晴れの国・岡山等	40人
D 直島コース	地中美術館等	20人
		合計 140人



2024犬島コース

壁画アートワークショップ(開催1年前記念)

講師と小学生で「アートの花束をみんなで贈ろう!」をテーマに、旧岡山市民文化ホール(2024年3月閉館)に壁画アート制作のワークショップを開催1年前記念イベントとして岡山市と連携し実施した。

開催日 2024年11月2日(土)・3日(日・祝)
 場 所 旧岡山市立市民文化ホール
 講 師 富岡美紀
 参加者 46人
 主 催 岡山市文化振興課



制作風景



完成

連携プログラム

岡山芸術交流コラボウォーク

市民等の健康増進を目的とする、アプリを活用した健康ポイント事業「OKAYAMAハレ活プロジェクト」と連携し、ポイントを取得できるスポットとして、岡山芸術交流2025展示会場の9か所を設定した。また、取得したポイントにより応募できる特典として、公式グッズ詰め合わせ10セットを設けた。

実施期間 9月26日(金)～11月24日(月・休)

展示会場スポット (チェックイン数(回))
旧内山下小学校(1,681)、岡山県天神山文化プラザ(1,972)、
城下地下広場(2,798)、岡山天満屋(2,580)、
丸の内ハウス(2,015)、旧写真イガラシ(2,055)、
出石町空地(2,109)、岡山神社(2,132)、
旧西川橋交番(2,348)

特典内容 Tシャツ(色・サイズおまかせ)、トートバッグ、クリアファイル、
ポストカード(5枚セット)、マスキングテープ ※各一つ×10セット

主催 岡山市保健管理課



岡山芸術交流特設コーナー

岡山市立中央図書館、岡山市立幸町図書館において、本展の作品紹介や参加作家の作品カタログ、関連書籍の展示を行った。岡山市立中央図書館では、岡山芸術交流紹介動画を上映した。

岡山市立中央図書館

展示期間 10月1日(水)～11月24日(月・休)

岡山芸術交流紹介動画上映は11月1日(土)から

展示場所 岡山市立中央図書館 1階入り口展示コーナー

岡山市立幸町図書館

展示期間 9月26日(金)～10月末

展示場所 岡山市立幸町図書館 2階



岡山市立中央図書館



岡山市立幸町図書館

連携プログラム

「池本喜巳写真展 FUTURE NOSTALGIE」

会期 2024年12月17日(火)～27日(金)

時間 10:00～21:00、入場は20:30まで、最終日は16:00まで

会場 岡山芸術創造劇場ハレノワ小劇場

入場料 当日1,500円/前売り1,200円/学生・障害者手帳をお持ちの方1,000円 ※中学生以下は無料

主催 池本喜巳写真展実行委員会

小説から聞くクラシック音楽の世界

会場 ルネスホール(Renaiss Hall 岡山県岡山市北区内山下1丁目6-20)

日時 11月14日(金) 開演19:00

入場料 全席自由 一般 3,000円/ユース1,000円(19歳以下、25歳未満の学生の方も対象)

主催 岡山アーツフェスティバル実行委員会

脳科学者・中野信子 × 美術家・島袋道浩 トークイベント 「わからない」を楽しむ — 生きていくためのアート

会場 岡山国際交流センター 国際会議場

日時 2026年3月23日(月) 開演18:00

登壇 中野信子(脳科学者・評論家・医学博士)
島袋道浩(美術家)

定員 200人

参加費 無料

主催 岡山市文化振興課

※広報連携についてはP54参照



Ⅷ 来場者の状況